

## テーマ「私の初めての投票」

大牟田北高等学校 宮本 いつき

選挙年齢が引き下げられたことによって、私は初めて投票をしに行きました。今までの私にとって投票に行くということは、まだまだ先のことで、高校生の時に行くなんて思ってもいませんでした。なので今回投票をしに行くというのは私にとって未知の部分でした。

今回私は、期日前投票をして投票をしに行きました。どのような雰囲気なのか、どのようにするのか全くわからないままでした。私の予想では、少しピリッとした空気に大人の人たちが何人も険しい表情で投票箱の所にいるのではないかと思っていました。しかし、私の予想とは全く違うものでした。私の行った会場は、ピリッとした空気は無く、笑顔で迎えられました。そのあとは、係の方に従って投票を行いました。最初に選挙区の投票を行い、次に比例代表の投票をし、二回に分けて投票を行うことを知りませんでした。投票に行く前に立候補者のポスターを見た時に、誰に投票したらいいのかわからずに最終的には、その人が挙げていたスローガンで決めました。理由は、その人がどんな党の人で、どのような人物か知らない中での投票だったからです。その時私が思ったのは、どんな党があるのか知っておかないと、自分が投票を行う時に困るからです。知っていたら「この人を応援しよう！」という気持ちで投票に臨めます。しかし、知らないと、「この人で良いんじゃないかな？」という気持ちでの投票になってしまいます。それは、立候補者に失礼だと私は思いました。なので次からは少しでも知り、投票に行きたいと思います。

私の周りの友達で、今回の選挙の投票に行ったと言った人はかなりいました。しかし、三年生の中でごくわずかな人たちです。次の選挙の時はほとんどの人が投票をしに行けると思います。私もまた投票をしに行き、少しでも立候補者のことを知り、「この人を応援したい！」という人を見つけて投票したいなと思います。